会議名称： 平成２９年度６月期古賀市社会教育委員の会議

日　　時： 平成２９年６月１５日（木）　１９時～２０時４５分

場　　所： 古賀市役所　第２委員会室

主な議題：①第４回古賀市生涯学習笑顔のつどいについて

傍聴者数：なし

出 席 者：松本議長、松末副議長、船越委員、平島委員、角森委員、
　　國友委員、佐々木委員、上野委員、檜山委員、村山委員
　　（以上委員１０名）
　　力丸課長、柴田参事補佐、野田、森田

欠 席 者：なし

事 務 局：生涯学習推進課社会教育振興係

配布資料：①レジュメ
　　②生涯学習笑顔のつどいチラシ
　　③生涯学習笑顔のつどいスケジュール
　　④生涯学習笑顔のつどいアンケート

会議内容：以下のとおり

委員：

ただ今から、６月期の古賀市社会教育委員の会議を始めます。

いよいよ、１ヶ月後は、『第４回笑顔のつどい』になりますので、今日は皆さんに協議をしていただく最後の会になるかと思います。７月の会議は最終確認で、リハーサルの形で進んでいくと思います。今日は事務局から提案される内容につきましての審議をよろしくお願いします。

それでは、「１．協議事項⑴『第４回古賀生涯学習笑顔のつどい』について」、お願いします。

事務局：

『笑顔のつどい』について、前回の会議でサブテーマが決まりましたので、改めてチラシを作成しております。

２点目はスケジュールについてですが、前回の会議では開会のことばを委員にお願いしていましたので、委員のお名前を入れております。市長あいさつでは市長が出席できないということですので、柴田副市長にあいさつをしていただいて、閉会のことばを長谷川教育長にお願いしようと思っています。

また、実践報告では今までパネリストの意見交換だったんですけども、会場からの質疑応答と助言者まとめを含めて３０分。今回の助言者は昨年まで福岡県教育委員会に在籍されて、現在は古賀市学校教育課で指導主事をしておられる伊丹晶子先生にお伺いしたところ、快諾いただきましたので今回は伊丹晶子先生にお願いしようと思っています。

以上の内容をまとめたもので、台本も作成していきたいと思います。何かご意見がありましたらお願いします。

３点目になりますが、『笑顔のつどいアンケート』ということで昨年度のアンケートをもとに作成しています。今年は３名委員さんが変わっておられますので、新しい目で見ていただいてご意見がありましたらお願いします。

最後に、オープニング映像を作成しておりますので、皆さんに見ていただきたいと思います。あくまでも仮の状態で作っていますので、写真の追加等がありましたら、差しかえていきたいと思いますので、ご意見をよろしくお願いします。

委員：

まずチラシですが、サブテーマが入ったということですね。

次にスケジュールが正式に決まったということで、助言者は伊丹先生。古賀北中学校の先生をされていて、その後福岡教育事務所の社会教育室で社会教育主事をされていまして、糟屋地区の社会教育委員の代表者会にも来ていただき、糟屋地区全体の社会教育委員について指導していただいておりました。その後、福岡教育事務所の指導室に変わりまして、指導主事として学校教育の指導をしていただいて、今年度から古賀市学校教育課指導主事ということで、１１小中学校の指導にあたっておられます。地元の中学校の先生でもありましたし糟屋地区の社教主事もされていましたので、とても適任じゃないかなと思っています。

質疑応答、助言者のまとめのところですが、前回も確認しましたが第４回目ということで、実際に参加された現場の方のいろんな質疑意見も聞きたいということで、事前の協議なしにフロアから質疑を拾っていきたいと思います。どうしても出ないような場合は、社会教育委員の皆さんから質問したり司会の私からたずねてみたりなどして、最終的に伊丹先生にまとめていただきたいと思います。

皆さんも実践報告を聴きながら、こんなのことを聞いてみたいなということがありましたら遠慮せずにフロアから質問をよろしくお願いします。

全体でご質問はありますか。

委員：

チラシについてですが、交流館の２階であるということは参加者の皆さんはわかっておられますか。交流会の隣に“２階”と入れなくてもいいですか。

事務局：

２階と入れた方が、場所的にわかりやすいんですが、市で統一した表記を使用していますので、どうしてもということであれば入れることは可能ですが、我々としてはこの表記でお願いできれば、と思います。

委員：

他にありますか。

委員：

実践報告の中に質疑応答がありますが、会場から声を拾う際にマイクを回す係が必要かと思いますが。

委員：
　どなたかに担当をお願いしましょうか。

委員：
　２人ぐらいいるんじゃないですか。

委員：
　マイクは足りますか。

事務局：
　無線マイクが３本、ピンマイクが１本、有線マイクが１本ありますが、有線マイクは司会者用になりますので、発表者のところに無線マイクが１本、議長・助言者に１本必要ですので、無線マイク１本とピンマイクを会場の質問者用として使用可能です。

委員：
　では会場の質問者のマイクは１本でいきましょうか。真ん中のセンターの通路で待機してもらって、手が挙がったところに行っていただく。

事務局：
　昨年はイスの間にあまり通路を作っていませんでしたが、マイクを持って回りやすいようにイスをブロック状に並べるようにしたいと思います。

委員：
　大ホールなら大変ですが、多目的ホールだったら大丈夫ですかね。

事務局：
　何かあったときにように、ピンマイクを準備しておくようにします。

委員：
　担当は進行班の委員と委員にお願いします。
　子ども劇場は、小学生による合唱は２曲発表していただいて、３曲目を参加者の皆さんと一緒に合唱ということです。玄界高校さんは創作の曲の演奏をしていただくようです。

事務局：
　タイトルはまた確認します。

委員：

　他に係の仕事でわからないことはありますか。最終的なプログラムということで確認をよろしくお願いします。

　次に、昨年度に準じていますが新しい委員さんも入られておりますので、見ていただいて何かご意見がありましたらよろしくお願いします。

委員：

　分析されて次のつどいに反映されると思うんですけども、質問５の中で“とてもよかった”“よかった”“ふつう”とありますが、ＰＤＣＡサイクルで次のステップにつなげていけると思いますので、“悪かった”というご意見もいただきやすいように、辛口の意見の選択肢もあったほうが次の改善につながっていくんじゃないかと思いますが、いかがでしょうか。

委員：

　３段階に分けた理由は、忙しい中各団体の方に来ていただき発表していただくということで、そういう方々によくなかったという評価は非常に失礼ではないかということで、今までの社会教育委員の会議では、“ふつう”“よかった”にしています。

　委員から出ました改善意見については、自由記述欄に辛口の意見や手厳しい意見もありましたので、そちらで反映させるということで今年度もよろしければこの内容でいきたいと思っています。

委員：

　笑顔のつどいの趣旨からいって、辛口意見は団体に失礼だということですので、了解しました。

委員：

　自由記述では、「もっとこうしてほしい」などいろいろ出ていますので、そちらのほうですくい上げていきたいと思います。

委員：

　アンケートの内容が団体についてだけですので、笑顔のつどい全体はどうだったか、という内容で聞くといいんじゃないでしょうか。

委員：

　笑顔のつどいについてということは、どういうことですか。

委員：

　運営とか、といったことじゃないですか。

委員：

そういったことであれば“よくなかった”があっても失礼じゃなくなると思います。自由記述もありますが、運営に関しての意見が聴けるのではないでしょうか。

委員：

自由記述欄の上に括弧でいくつかの例を入れましょうか。運営についてとか、発表の内容についてとか。

事務局：

先ほどの話を総合しまして、アトラクション②の下に“全体”という項目を増やして、“とてもよかった”“よかった”“ふつう”“悪かった”というようにしておけば、全体の具体的なご意見・感想がありましたら、ここが悪かったということを書かれるかな、と思いますがいかがでしょうか。

委員：

質問⑤の中に入れますか。では、全体についてということで、“とてもよかった”“よかった”“ふつう”“もう少し”にしましょうか。そして具体的なご意見やご感想がありましたらお聞かせください、という流れにしましょう。

委員：

もう一点、実践報告は団体名がちゃんと出ているんですが、アトラクションは①②という表現になっているので、当日はプログラムとか持ってあるからわかると思いますが、例えば玄界高校邦楽部とか古賀新宮子ども劇場とか入れた方が、いいんじゃないかと思います。

委員：

名前を入れたほうが参加者にはわかりやすいですね。我々は毎年やっているのでわかりますが。

昨年度参加者に配ったパンフレットには、プログラムの中にアトラクション①古賀キッズブラス、アトラクション②りんコールという名前の、明記はされています。

事務局：

確かに委員がおっしゃったように、出演いただいている団体さんにアトラクション①②は失礼だと思いますので、文字数の制限もあると思いますが失礼にならないよう、団体名を省略して入れたいと思います。ありがとうございます。

委員：

フォントを小さくしてもいいでしょうし、２段にしてもいいかと思いますので、入れるようにしましょう。では改善意見が２つほど出まして、今年度のアンケートは今のご意見を含めて実施ということで、よ

ろしくお願いします。
　『笑顔のつどい』についての資料は以上ですね。では、エンディング映像に移ります。

（エンディング映像上映。）

委員：
　見ていただいて、改善意見がありましたらお願いします。

委員：
　タイトルに地域とか、小学校名が出ているものと出ていないものがあるので、出したほうがいいのではないかと思いました。

事務局：
　地域がわかったものは入れるようにしたんですが、わからないものもありまして、この場で入れていきたいと思います。

（それぞれの映像にタイトルを入力。）

委員：
　細かいところは事務局にお願いしたいと思います。笑顔のつどいについては、最終的に以上でよろしいですか。また７月の会議やリハーサルで詰めていきたいと思います。
　それでは「３．報告事項」に入りたいと思います。社会教育の活動報告について、事務局からお願いします。

事務局：
　今年１年間の会議についてなんですけれども、新しく３名の方が変わられたということで、今年は主に研修を行っていきたいと考えております。
　８月までは『笑顔のつどい』が中心になりますが、９月は減額申請の意見聴取がありますので、１０月くらいに講師に来ていただいて、社会教育について、社会教育委員について、といった研修を行おうかと考えています。議長とも相談しましたところ、昨年の笑顔のつどいの反省会のときに皆さんの活動、それぞれの委員が何をしているか、ということを自分たちがまず知らないと、といった話もありましたので、６月から３月まで委員に１人ずつ、「自分はこういうことをしています」といった、活動報告をそれぞれしていただきたいと思いまして、一覧を作成しています。突然の話ですので、今月は議長にお願いをしているので、後ほど７月以降の順番を決定したいと思います。
　もしもご都合が悪くて会議に出席できない、といったことがありましたら、他の月の委員と変わっていただきたいと思います。

委員：

２年間、提言をまとめていただいて時間外も含めてご尽力いただきましたので、今年は社会教育委員の皆さんに肩の力を抜いていただいて、自己紹介も兼ねまして簡単な活動報告をして、皆さんがどこでどんな活動をされているのか、そういったことの交流と位置づけてやりたいと思います。

本日はお手元に３枚の資料を配っておりますが、新しく資料を作る必要はありませんので、今までの皆さんの活動で持ってくることのできる資料があれば１枚でもいいので持ってきていただいて、口頭中心に１０分程度お話をしていただいて、他の委員から聞きたいことがあれば出していただく、そんな社会教育委員の活動交流、活動報告を毎回位置づけていきたいと思っています。それは本年度の研修の中心ということで考えてもらえばいいと思います。

６月は最初ですので私がお話ししますが、７月以降は委員の皆さんで決めていただいて予定に組んでいただきたいと思います。

それでは、私の活動報告をしたいと思います。

（委員より、活動報告。）

委員：

では、「４．その他」にいきます。各委員からお願いします。

（委員から「古賀市青少年健全育成大会」の案内。事務局より「平成２９年度市町村社会教育委員新任者研修会」、「古賀を歩こう！歩いてん道ウォーク in ハマボウまつり」の案内。）

事務局：

レジュメには載せておらず追加で資料をお渡ししておりますが、昨年度の提言の家庭教育班の提言の中で、リーフレットの作成をし、学校を通じて保護者の方にお配りすることで、いただいたアンケート内容を保護者に返し、啓発をしていく、という内容がありました。昨年度委員の加藤元委員から、データをお預かりしていまして、それを皆さんにお配りしています。

先日、議長と打ち合わせしましたところ、夏休み前は学校が忙しく休み明けに出してはどうか、というお話しがありましたので、秋口に配布するようにしたいと思います。皆さんに見ていただきまして、ご意見等がありましたらお願いします。

委員：

これはでき上がり原稿ではなく、今から手を加えるものになりますので、追加・訂正がありましたらお教えいただきたいと思います。皆さんのご意見をいただいて、校長会を通じてお配りするという形になると思います。よろしくお願いします。

委員：

少年センターの住所が違いますね。

委員：

情報量が多いので、わかりづらいのではないでしょうか。「まずは、ご相談を」が１番上になっていますが、自由記述回答や本の紹介が上の方がいいのではないでしょうか。

委員：

記事の中に、問い合わせ先や発行元があったほうがいいのではないかと思います。

委員：

今日はこういったリーフレットを２学期にかけて、各小中学校に配るということの確認で、また配布が近づきましたらご意見をいただきたいと思います。

他にないようでしたら、おわりの言葉を委員からお願いします。

委員：

皆さんお疲れ様でした。